



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

24日

週明けのドル円は大人しく、105円台後半での狭いレンジ取引に終始した。なお、ポンドドルは下落。英国が欧州連合(EU)と自由貿易協定(FTA)を締結できないまま、EU離脱の移行期限である年末を迎えるリスクが意識されると一時1.3054ドルまで値を下げた。

25日

米通商代表部(USTR)は24日、米中貿易協議「第1段階合意」の履行状況を検証するため、両国閣僚が電話協議を行ったと発表し、中国による米国産品購入拡大を確認し、さらなる進展を目指す方向で一致したと説明。投資家のリスク選好姿勢が広がり、株高とともにドル円は一時106.58円まで上昇した。

26日

インフレに対して最もタカ派として知られるジョージ米カンザスシティ連銀総裁が明日の国際経済シンポジウム(ジャクソンホール会議)を前に「インフレ率が2%の目標を多少上回ったとしても反対しない」と述べ、「我々はコミュニケーションの観点から、目標達成に向けて成果を上げるのに役立つ種類の話をするだろう」とコメントすると、思惑的なドル売りが広がった。ドル円は一時105.96円まで値を下げた。

27日

パウエルFRB議長がジャクソンホール会議で講演し、「平均物価目標を導入する。物価上昇が目標である2%を穏やかに上回ることも認める」と述べたほか、FRBが臨時のFOMCを開き、インフレ率が一時的に2%を超えることを容認する新たな金融政策の方針を決定。米国のゼロ金利政策が長期化するとの観測が強まると米長期金利の低下とともにドル円は105.61円まで値を下げた。ただ、その後米長期金利が一転上昇するとショートカバーが活発化し106.70円まで反発した。

28日

日米株価指数の上昇でクロス円とともにドル円は一時106.95円まで上昇した。ただ、安倍首相辞任の意向との報道が伝わると日本株とともに急落。欧州時間に入っても流れは続き、一時105.20円まで下げ幅を広げた。

総括

先週のドル円は上値が重かった。米中対立懸念が後退したことで買いが入ったほか、米長期金利の上昇を支えに週末の東京市場では一時106.95円と107円に接近した。ただ、安倍首相の辞任で景色は一変。FRBのゼロ金利政策長期化やアベノミクス終焉を受けて円買い・ドル売りが仕掛けられ、一時105.20円まで急速に値を下げた。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
25日	15:00	火	DEM	GDP改定値	前期比	4-6月期	-10.1%	-10.1%	-9.7%
25日	23:00	火	USD	新築住宅販売件数	年率換算	7月	77.6万件	78.6万件	90.1万件
25日	23:00	火	USD	消費者信頼感指数	*	8月	92.6	93.0	84.8
26日	21:30	水	USD	耐久財受注	前月比	7月	7.3%	4.3%	11.2%
27日	21:30	木	USD	GDP改定値	前期比年率	4-6月期	-32.9%	-32.5%	-31.7%
27日	22:10	木	USD	パウエルFRB議長発言	*	*	*	*	*
28日	21:30	金	CAD	PCEコアデフレーター	前年比	7月	0.9%	1.2%	1.3%

一言コメント・・・FRBは臨時のFOMCを開き、インフレ率が一時的に2%を超えることを容認する新たな金融政策の方針を決定。米国のゼロ金利政策が長期化するとの観測が強まり、ドルは全面安の展開となりました。NYダウは半年ぶり高値を付け、S&P500種とナスダックは史上最高値を更新しました。

## 先週の注目された要人発言

24日11:38 菅官房長官「首相の病院入りは追加検査と聞いている」  
 24日14:08 安倍首相「先週の検査結果の詳しい報告と追加的な検査を行った」体調管理に万全を期して仕事を頑張りたい」  
 26日01:03 クドローNEC委員長「中国は第1段階の合意を実行している」ライトハイザーUSTR代表は今のところ、中国の履行に納得」  
 26日20:12 ジョージ米カンザスシティ連銀総裁「景気回復が確認されるまで、インフレリスクはない」米連邦準備理事会(FRB)による追加緩和の議論は時期尚早」インフレ率が2%目標を上振れでも反対しない」  
 27日21:06 レーンECB専務理事「欧州中央銀行(ECB)は、必要ならば、さらなる金融緩和が可能」  
 27日22:11 パウエルFRB議長「インフレは期間平均2%を目標とする」雇用の最大化は広範なベースで包括的な目標」インフレのオーバーシュートは緩やかで、長期間続くことはないだろう」  
 28日11:40 トランプ米大統領「すぐに完全雇用に戻るだろう」米国へのすべての脅威から守る」ワクチンを年末まで、もしくはもっと早く生産できるだろう」  
 28日13:30 安倍首相「新型コロナウイルスのワクチンを来年前半までに全国民に提供できるように量の確保を目指す」ウイルス検査を1日20万件できることを目指す」次の首相が任命されるまで責任を果たす」次の自民総裁選出方法は執行部に任せている」

一言コメント・・・安倍晋三首相の辞意表明を受けて日本株が急落、円高が進みました。市場では「大胆な金融緩和を柱とする経済政策『アベノミクス』の路線が首相辞任をきっかけに変わる可能性があるのか、警戒感を強めている投資家もいる」との声が聞かれました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
1日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.25%		0.25%
1日	18:00	火	EUR	HICP速報値	前年比	8月	0.4%		0.2%
1日	23:00	火	USD	ISM製造業景況指数	*	8月	54.2		54.5
2日	10:30	水	AUD	GDP	前期比	4-6月期	-0.3%		-6.0%
2日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	8月	16.7万人		90.0万人
3日	23:00	木	USD	ISM非製造業指数	*	8月	58.1		57.0
4日	21:30	金	USD	非農業部門雇用者数変化	前月比	8月	176.3万人		135.0万人

今週の注目は・・・米雇用統計

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。